６　番	原　誠　議員

質問タイトル（大項目）	質問項目（中項目）	具体的質問内容（小項目）
１．災害に強く、市民の暮らしを支える防災・水道行政について **【質問趣旨】** 近年、線状降水帯などによる集中豪雨が各地で発生する一方、渇水や取水制限が行われる地域もあり、災害と水資源をめぐる環境は大きく変化している。 本市でも､9 月 8 日の大雨により、道路冠水や浸水、水路の増水、土砂災害などが発生した。一方で、渇水による水量不足の可能性もあり、自己水源の維持・保全は重要な課題である。 さらに、水源に近接して計画されている産業廃棄物最終処分場については、災害時の安全性や水源への影響を懸念する市民の声が高まってい	（１）9 月 8 日豪雨災害の被害状況について （２）原因分析と再発防止策について	①9 月 8 日の豪雨により、市内では床上･床下浸水、道路冠水などの被害が発生した。市は、被害の件数や場所をどのように把握しているか伺う。 ②被害地域はハザードマップの浸水想定区域と一致していたか伺う。 ③今回の豪雨災害を踏まえ、ハザードマップの見直しや、浸水想定区域の周知、防災対策への反映を行う考えはあるか伺う。 ①今回の浸水被害について、雨水管、側溝、水路、河川、調整池など、どの施設の排水能力が課題となったと分析しているか伺う。 ②矢田川沿岸では、右岸側の市街化区域で浸水被害が多く見られた一方、左岸側の市街化調整区域では大きな被害が見られなかった。この違いを、市はどのように分析しているか伺う。 ③市街化区域への編入後、水田の減少や宅地化が進めば、今後も同じ地域で浸水が発生するおそれがある。土地利用の変化を踏まえ、浸水リスクをどのように考えているか伺う。 ④市街化区域に編入された地域に残る水路について、道路冠水時にも境界が確認できるよう、防護柵や注意喚起表示などの安全対策を講じる考えはあるか伺う。 ⑤再発防止に向け、排水施設や側溝・水路の改修、調整池の整備など、具体的な対

備考　１．必ず、大項目を【１、２、３・・・】、中項目を【（１）、（２）、（３）・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
２．数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
３．ＭＳ明朝体、１２ポイントで記載する。

６　番	原　誠　　議員

質問タイトル（大項目）	質問項目（中項目）	具体的質問内容（小項目）
る。 　また、「市民の暮らしを支える」という観点からは、2028年４月に予定されている水道料金の再値上げも、看過できない課題である。 　そこで、浸水被害を踏まえた防災対策、産業廃棄物最終処分場計画地の安全性、豪雨・渇水に備えた水源及び水道施設の保全、自己水源の維持、さらには市民負担に配慮した水道料金のあり方について、順次伺うものである。	（３）産業廃棄物最終処分場計画地の防災上の安全性について	策を検討しているか伺う。 ①9月８日の豪雨において、山路町の産業廃棄物最終処分場計画地周辺に、浸水、土砂流出、のり面崩壊、濁水流出などの被害や異常はなかったか伺う。 ②産業廃棄物最終処分場計画地は崩壊土砂流出危険地区に指定されている。今後、同様の集中豪雨が発生した場合、計画地周辺で土砂災害や濁水流出が生じる危険性を、市はどのように考えているか伺う。 ③産業廃棄物最終処分場が建設された場合、造成や施設整備によって周辺地域の防災上のリスクが高まる可能性について、市の見解を伺う。また、安全性に疑問が残る場合、事業者に追加調査や対策を求める考えはあるか伺う。
	（４）９月８日豪雨災害における水道施設の被災状況と水質保全について	①9月８日の豪雨災害により、水源や取水施設への土砂・流木の流入、浄水場や配水施設の浸水、導水管・配水管の破損や漏水など水道施設の被害の状況と、市民への給水に支障は生じなかったか伺う。 ②愛知県の資料では、馬ヶ城浄水場西谷取水口周辺は崩壊土砂流出危険地区に位置しているが、取水口と産業廃棄物最終処分場計画地は約70メートルしか離れていない。この立地を踏まえ、豪雨時の土砂や濁水が水源に及ぼす危険性を市はどのように認識しているか伺う。

備考　１．必ず、大項目を【１、２、３・・・】、中項目を【（１）、（２）、（３）・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
　　２．数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
　　３．ＭＳ明朝体、１２ポイントで記載する。

６　番	原　誠　議員

質問タイトル（大項目）	質問項目（中項目）	具体的質問内容（小項目）
		③浄水場では、水質検査をどのような体制で、どの項目について、どの程度の頻度で実施しているか、また、突然の濁水の流入を把握するため、リアルタイムで監視できる体制は整っているか伺う。 ④過去の答弁では、取水口への近接性から、産業廃棄物最終処分場計画は「好ましい施設計画であるとはいえない」との認識が示されている。水道事業者として、現時点でもその認識に変わりはないか伺う。
	（５）自己水源の維持と渇水対策について	①現在、本市の水道水に占める自己水源と県営水道からの受水の割合は、それぞれどの程度なのか伺う。 ②これまで、自己水源が渇水や大雨による濁水の影響を受けた日数はどの程度あるか伺う。 ③県水について、渇水による取水制限の影響を受けたことはあるか伺う。 ④近年は、都市部で集中豪雨が発生する一方、水源地周辺で渇水となるなど、降雨の偏りが見られる。こうした状況を踏まえ、水源を分散して確保し、自己水源を維持する必要があると考えるが、市の見解を伺う。 ⑤市長は「自己水源地を守る」と公約に掲げて当選された。自己水源を将来にわたって維持することが公約の実現につながると考えるが、市長の見解を伺う。

備考　１．必ず、大項目を【１、２、３・・・】、中項目を【（１）、（２）、（３）・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
２．数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
３．ＭＳ明朝体、１２ポイントで記載する。

６　番	原　誠　　議員

質問タイトル（大項目）	質問項目（中項目）	具体的質問内容（小項目）
	（６）市民の暮らしを守る水道料金のあり方について	①2026 年 4 月からの水道料金改定に際し、2028 年 3 月まで、2 ヶ月 20 立方メートルまでの従量料金を 0 円とする経過措置を設けたことは、急激な負担増を抑えるものとして評価するが、経過措置終了後は、使用水量の少ない世帯は一気に負担が増加することになる。単身高齢者世帯や年金生活世帯、低所得世帯への影響を、市はどのように認識しているか伺う。 ②2026 年 8 月から 2027 年 3 月まで、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して基本料金を無料化している。この措置は、どのような目的・意図で実施したのか伺う。 ③市民負担の軽減を図るため基本料金の無料化を行う一方で、2028 年 4 月には水道料金を再値上げすることについて、政策上の整合性をどのように考えているか伺う。 ④水は市民生活に欠かせない基礎的なサービスである。基本料金無料化の終了後に水道料金再値上げによって市民負担がさらに増えれば、今回の負担軽減策の効果が薄れるのではないかと考える。少なくとも物価高騰が続く間は、基本料金無料化の継続や従量料金 0 円の措置を維持し、市民負担を軽減する考えはないか伺う。

備考　１．必ず、大項目を【１、２、３・・・】、中項目を【（１）、（２）、（３）・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
２．数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
３．ＭＳ明朝体、１２ポイントで記載する。